

【事業者向け】 放課後等デイサービス自己評価集計表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		十分なスペースがある。個別で支援を行える部屋がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			子どもと大人の人数を見てどこにいたら良いか考えて動ける余裕がある。スタッフ数に余裕がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5		死角等目の届かない所がある。階段がある。人が通るところに物を置かないようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		その日に参加できなくても、後日聞いたり伝えたりできる時間がある。相談を交えて改善点を話し合っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		1	アンケート配布中。勉強不足の為、見るようにする。
	⑥	この自己評価の結果を、事業者の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		勉強不足の為、見るようにする。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		勉強不足の為、見るようにする。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			なるべく研修に参加するようにしている。月2回以上の研修を受けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			専門的支援計画作成。作成してもらった時に気付いた事があれば皆で伝えあっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		発達段階・専門アセスメントの活用。標準化されたものなのか勉強不足の為勉強する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			企画・相談をスタッフ間同士で行えている。子どもにどのようなことが必要かを考え皆で話し合っ計画し実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			月間スケジュール意見の出し合い出来ている。様々な視点からアプローチしている。当番制にして色々な活動を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			長期休暇専門のプログラム立案出来ている。その時期にしかできない事も含め支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			席々の云では集団レク、自由時間では個別レクを行っている。作成してもらったものを見て声掛け等を考えるようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	1	・必ずではない。・職員間で確認報告出来ている。・時間を見つけてやることを伝えている。・打合せが出来ない時はグループLINEを活用している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1		行動記録記入時意見交換している。気になった事は特に聞くようにしている。次の日の午前中に話し合う事もある。

	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			他職員にも確認、共有している。事実とその前後の様子が分かれば書き、次に繋げている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			職員で集まって話し合いしている。モニタリングをしてもらったものの情報を聞いている。
	⑳	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	3		様々な視点から考えてくれている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			参加してくれている。その情報を教えてもらっている。
	㉒	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			なるべく送迎の時に担任の先生と話をするようにしている。
	㉓	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4		てんかん児の対応などは保護者から聞いている。指定の病院へ搬送している。緊急時フローチャートOK
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	3	勉強不足の為此まで出来ているのかわからない。勉強していく。
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		移る可能性がある時には事前に様子を見に来てもらうなどしている。
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6		勉強不足の為わからない勉強していく。
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	1	児童館へ行き、過ごす時間を作っている。児童館には行っているが交流はない。
	㉘	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6			している。その情報も教えてもらっている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			その日の様子を送迎時に伝えるようにしている。連絡ノートを活用しています。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	3	保護者のタイプによっての対応の仕方を読んだ。
保護者への	㉛	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		面談時に説明しているのが聞かれる。
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・保護者からの相談があった時にはすぐに対応し情報共有している。
	㉝	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2	・勉強不足なのでわからない。 ・法人主催の保護者向けセミナーを開催しているがどのくらい参加しているか不明。
	㉞	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	1	・何かあったときにはすぐに伝えるようにしている。

説明責任等	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	1	・長期休暇の前にはお便りの配布を行っている。・ブログやお便り、連絡帳などで伝えている。
	㉑	個人情報に十分注意しているか	5	1		・漏れる事がないよう注意している。
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		・保護者にあわせて変えている。
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4	・勉強不足なので確認する。・事業所の広さから招待するのは難しい。
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3		・研修を受講した。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		・何気ない会話の中でも話すようにしている。
	㉖	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・社内での虐待防止研修があり参加している。・これは虐待？などの話し合いも行っている。
	㉗	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		・現状身体拘束に該当する児がいない。・危険がある場合には必要がある事を行っている。
	㉘	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		・提供しないようおやつの所に書いて貼っている。・アレルギーは共有されている。
	㉙	ヒヤリハット事例集を作成して事業所で共有しているか	6			・口頭やヒヤリハットで共有している。・発生都度作成し、閲覧しやすい所において共有、必要に応じて話し合いを行っている。